

第2回府中市都市計画審議会部会（都市計画マスタープラン策定委員会）

議事概要

○開催日

令和3年12月24日（金）10:00～12:00

○開催場所

府中市役所3階 302会議室

○出席委員

岡辺重雄（会長）、加藤誠章、田中貴宏、福代智之、山口謙二（蒲原幹生委員の代理）

○議題

- ・府中市都市計画マスタープラン（素案）の策定状況について

○議事概要

【委員】

資料中に安定した人口の維持とあるが、グラフを確認すると将来的に一貫して人口が減少している。

【会長】

人口は下げ止まりが分かればそれに応じた最終的な都市の姿が描けるのでは。人口減少の中でも、市が目指すべき姿を設定する必要がある。具体には、中心市街地の人口密度維持や、子どもの人口の維持を図るといような、本市が大切にしている要素があれば追加してはどうか。

【事務局】

大学卒業後～25歳までに限定すれば人口は転入超過になっている。一方で子育て世代となると福山市に転出する傾向にある。全国的に将来人口は下げ止まりになる時期が来ると思うが、社会増減は隣接市町との人口の取り合いになると予想される。人口総数が減少するので出生率は一定でも自然増加は期待できない。

【会長】

社会増減をマイナスからプラスに持ってくるのが重要。大学卒業後～25歳までの転入者の定住促進に着眼してはどうか。

例えば資料中にもある「産業基盤の強化」によって雇用を増やし人口流出を防ぐことや、「子育て支援」によって人口流出を防ぐことが考えられる。そしてそれらを都市マスにも記載することが望ましい。

【事務局】

人口重心が高木・中須町周辺に移っていく中で、まちづくりの視点から南北道路をどのように活かしていくのか、周辺道路の整備によるネットワークの構築についても考える必要がある。

【会長】

バルセロナでは都市が拡張する中で、新しい町が郊外発展し、健康を重視した都市を目指した事例もある。本市でも中心市街地以外のエリアをどのようにデザインするか検討してはどうか。府中市では歴史文化資源を活かしたまちづくりをデザインすることも一考。

【委員】

（浸水からの垂直避難について）津波と浸水は災害の種類が異なる。外水による氾濫区域は想定を超えることはほとんどないため、水平避難が可能。水平避難が困難になった場合に垂直避難を考えればよいと思う。

【委員】

総花的になっている印象。府中市が重点的に取り組む施策を内部で検討いただきたい。

以上